



自民・公明・憲法
否決

政治資金パーティを巡る 裏金問題の真相解明を求める意見書

国政の焦点となつてい
る自民党派閥の裏金問題。
世論調査でも八割以上が
「真相解明を」「再発防止
のため企業団体献金の禁
止を」と求めているにもか

かわらず、3月定例議会に
日本共産党の山岡光広議
員が「意見書」を提案した
ところ、自民党誠翔会の奥
村則夫議員が反対討論。自
民党誠翔会・公明党・凜風
会の議員が反対。賛成した
のは、日本共産党三名と無

会派の福井議員のみとい
う結果になり、否決となり
ました。
これだけ国民の関心が
高く真相解明を求める声
が大きいのに、意見書に反
対する民意を無視する議
員の態度が問われます。

ームなどの長時間使用
で眼に負荷がかかり、目
の血流をよくしよう
と働くために緑内障の
原因でもある眼圧が上
昇するケースが多いと
いわれています。

新年度予算案などを
中心に議論する三月定
例議会は、2月16日か
ら3月22日まで開かれ
ました。

日本共産党の山岡光
広議員は議案質疑・一
般質問・委員会でも積
極的に発言。一般質問
では、①視覚障害者の
福祉施策について、②
通学バスについて、③
4月1日からのコミバ
ス・コミタクの再編問
題について、④新年度
から引き上げられる国
民健康保険税の今後に
ついて、実態を示しな
がら改善を求めました
(写真)。

山岡光広議員が一般質問

視覚障害者の福祉施策拡充を 手帳保持者の6割強は70歳以上高齢者

山岡議員は高齢にな
って視力が低下したり
視野が狭くなるなど視
覚障害者が増える傾向
にある問題を取り上げ、福祉施策の充実を
訴えました。
市内の視覚障害者手
帳を保持している人は

216名。1級・2級
の人が全体の65%を
占め、70歳以上の人が
63%を占めている現
状をふまえて、40歳以
上の人間ドックや健康
診査で「眼底検査」や
「眼圧検査」をするな
ど予防に力を入れるこ

と、また「同行援護」
の拡充、補装具の拡充、
音響信号機の整備など
を求めました。また「視
覚障害支援のハンドブ
ック」を作成して相談
に対応したらどうか、
と提案しました。
パンフについて健康

福祉部長は「検討する」
と約束、人間ドックに
ついては、新年度1.5倍
の予算を見込み積極的
な受診を促していきたく
いとの答弁でした。音
響信号機は、市内に八
か所に設置されている
との報告でした。
山岡議員の質問に、
甲賀市視覚障害者福祉
協会の松本茂会長ら多
数が傍聴にお越しいた
だきました。
最近では、スマホやゲ

山岡議員がこの間一
貫して取り組んできた
市内小中学に通う子ど
もたちがバスを利用す
る場合、市が補助して
いる問題について、「学
校から2キロ以上に緩
和され、ほとんどの子
どもが補助を受けてい
る。あと11人のみが有
料。今後は通学バスと
位置づけ再編し、通学
を保障するべきではな
いか」と提案しました。

4月実施の コミバス再編

一部予約制デマンド導入取りやめ

甲南・環状線は現行のまま 土山・鮎河・山内など三路線

山岡議員は、4月1
日から市内を走るコミ
バス・コミタクが大幅
に再編される問題を取
り上げました。山岡議
員は、「運転手不足など
が理由とはいえず、利用
の少ない路線を廃止し
予約制デマンドに移行

するのは問題、しかも
関係地域に事前の説明
もないまま強行するの
はさらに問題。これ
はコミユニティバスと
は言えないのではない
か」と指摘するととも
に、「実施して利用者か
ら改善を求める声が出

されたら再度見直しす
べき」と求めました。
このなかで、当初計
画では路線を廃止して
予約制デマンドを導入
する予定だった甲南環
状線と土山を走る三路
線については「現行の
まま」とすることが明

らかにになりました。
山岡議員は、広報こ
うか3月号で「甲賀市
に定住したくない理由
の第一が交通の便が悪
い」と回答されている
ことを紹介しながら、
減便ではなく、利用者
のニーズに応えたコミ
バスとなるよう改善す
べきと強調しました。
建設部長は、「効率的
で利便性が高い交通網
となるよう、今回の再
編を評価し、可能な範

囲での改善を令和7年
4月を目途に実施す
る。見直しが必要と判
断するケースが生じた
場合は、柔軟に改善を
図っていききたい」と答
えました。
なお、これまでコミ
タクエリアではなかつ
た、甲南町の森尻・宝
木地域は、コミタク運
行地域となりました。
バス停の改善・ダイヤ
の改善など、また要望
をお聞かせください。

通学バス 拡充を

やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2024年4月1日
第1020号

日本共産党